

**和歌山県での豚熱発生に係る
庁内連絡会議
(持ち回り開催)**

日時：令和3年1月27日（水）

**出席：知事、危機管理局、
生活環境部、農林水産部、**

会議内容

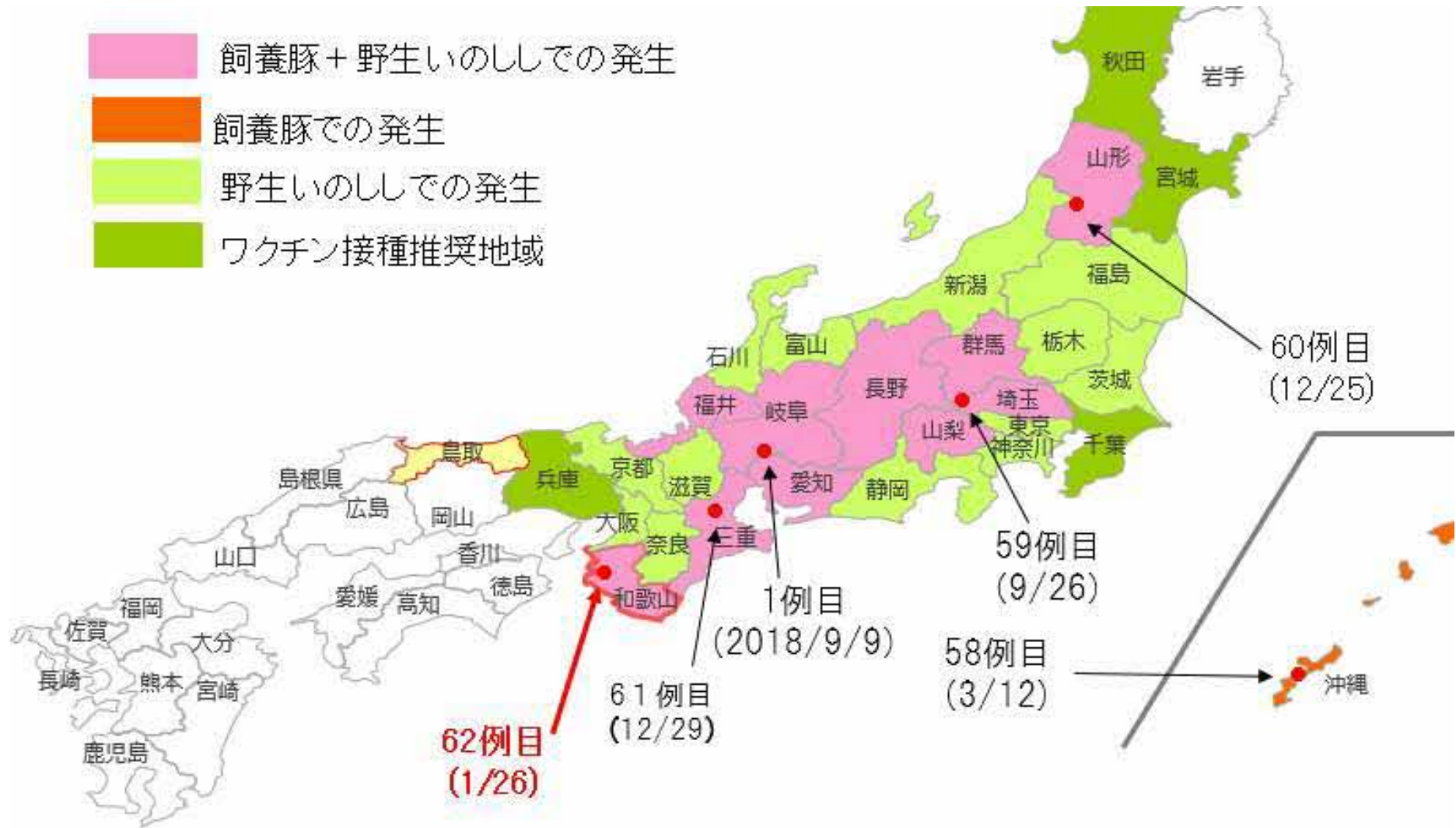
- 1 国内発生状況
- 2 発生事例の概要、国の対応状況
- 3 鳥取県の対応状況
- 4 お問い合わせ

国内発生状況

- 1 平成30年9月9日、岐阜県養豚農場で発生(1例目)し、令和2年9月26日にかけて岐阜県、愛知県、長野県、滋賀県、三重県、福井県及び大阪府内、埼玉県、山梨県、沖縄県、群馬県で発生しており、昨年12月に山形県、三重県で発生。**今回、和歌山県の発生は国内62例目。**
- 2 野生いのししの感染は23都府県に拡大しており、西日本では令和2年10月29日に大阪府茨木市の死亡いのしし、10月30日に和歌山県紀の川市の捕獲いのししで初確認。東日本では12月27日には、山形県小国町で確認された。

豚熱が確認された都府県

- 飼養豚 + 野生いのししでの発生
- 飼養豚での発生
- 野生いのししでの発生
- ワクチン接種推奨地域



国内発生状況

4 野生いのししでの検出状況(令和3年1月20日現在 農水省調べ) →陽性例は23都府県で確認

県名	陽性確認頭数	検査頭数
福島県	11頭	141頭
茨城県	2頭	1,001頭
栃木県	4頭	559頭
群馬県	95頭	2,012頭
埼玉県	116頭	1,136頭
東京都	8頭	121頭
神奈川県	4頭	729頭
新潟県	28頭	325頭
富山県	80頭	584頭
石川県	42頭	618頭
福井県	108頭	1,207頭
山梨県	62頭	332頭

県名	陽性確認頭数	検査頭数
長野県	258頭	1,075頭
岐阜県	1,206頭	5,045頭
静岡県	287頭	3,286頭
愛知県	139頭	2,385頭
三重県	284頭	3,355頭
滋賀県	243頭	1,135頭
京都府	18頭	240頭
大阪府	6頭	24頭
奈良県	14頭	277頭
和歌山県	21頭	298頭
山形県	1頭	159頭
合計	3,037頭	26,044頭

和歌山県の発生事例の概要

1 農場の概要（国内62例目）

場所：和歌山県かつらぎ町

飼養状況：290頭

2 概要及び検査結果

- ・ 1月24日（日）に農家からワクチン接種済の子豚1頭が衰弱していると通報
- ・ 1月25日（月）家畜保健衛生所が立入検査を実施。
- ・ 1月26日（火）家畜保健衛生所での検査により豚熱の疑いを生じ、農研機構動物衛生研究部門が精密検査を実施し、患畜であることを確認。

和歌山県は10月25日から飼養豚へ豚熱のワクチン接種を開始し、11月3日（約89千頭）に終了したところ。

※ワクチン抗体が体内で安定する前に感染した可能性

3 対応状況

- ・ 1月27日（水）対策本部会議後、防疫措置を実施。
- ・ ワクチン接種地域のため、制限区域は設けないが、主要道路に消毒ポイント設置

国の対応状況

■ 1月26日(火)

- ・農林水産省豚熱、アフリカ豚熱対策本部会議の開催
- ・全都道府県へ情報提供
- ・飼養衛生管理基準の遵守、早期発見、早期通報徹底を通知
- ・和歌山県へ国の疫学調査チーム派遣を決定

■ 国の野生いのしし対策

- ・捕獲強化対策(ワナ増設等)
- ・農場への侵入防止対策(侵入防止柵設置支援)、全国の都道府県対象
- ・経口ワクチン散布を23都府県で実施

国の対応状況 続き

■ 豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の改正 (R2年7月)

■ 野生いのしし感染が確認された県とその隣接県について、順次、ワクチン接種推奨地域を指定

(R1年10月) 12県 (群馬、埼玉、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀)

(R1年12月) 8都府県 (新潟、栃木、茨城、千葉、東京、神奈川、京都、奈良)

(R2年1月) 1県 (沖縄)

(R2年4月) 3府県 (兵庫、大阪、和歌山)

(R2年8月) 1県 (福島)

(R2年9月) 2県 (山形、宮城)

(R2年12月) 1県 (秋田)

鳥取県の対応(1)

- 1 発生情報の周知(市町村、養豚農場、農協等関係機関)
(1/26)
- 2 県内養豚農場の状況確認と注意喚起(1/27)
 - ・県内全養豚農場(21農場)に異常の有無等を電話聞取
⇒ 異常なし、和歌山県の養豚農場との疫学関連無し
- 3 農場の野生いのしし等野生動物の侵入防止策の徹底
 - ・降雪前後での消石灰散布の徹底を指示
 - ・消毒を強化するため、再度消石灰の配布を検討
 - ・再度、侵入防止柵の点検、長靴の衣服の交換、車両消毒、早期通報等の徹底を指導
- 4 豚熱のワクチン接種推奨地域指定に備えた準備
ワクチン接種研修会開催(12/17)
ワクチン接種に関する農場の同意確認、非接種地域の県外出荷先と場や化製場との交差汚染防止の調整等を実施中

鳥取県の対応(2)

- 5 平成30年9月より野生いのししの検査を実施中
 - ・令和3年1月26日までに県内全域で死亡、捕獲された野生いのしし301頭について全て豚熱陰性を確認。
- 6 野生いのしし対策の強化
 - ・今猟期に捕獲強化を実施(R2年11月~3月 昨年度は岡山県と同時期のR2年1月~2月に捕獲強化期間を設定)
 - ・3県(兵庫、岡山、鳥取)連携による鳥獣対策に係る担当者会議での経口ワクチン散布の研修
 - ・中国地方知事会豚熱等に係るいのしし検討会構成員による豚熱対策に関する研修会開催(10/22)
- 7 年末年始等の防疫対策徹底
 - 年末年始に向けた豚熱等の防疫対策の徹底を関係機関、生産者に通知済 (12/25)

年末年始の対応（豚熱対応窓口）

(24時間対応しています。)

■生産者の皆さんの相談窓口

鳥取家畜保健衛生所	0857-53-2240	（夜間休日は転送）
倉吉家畜保健衛生所	0858-26-3341	（ " ）
西部家畜保健衛生所	0859-62-0140	（ " ）

■豚熱に係る死亡いのししに関する通報窓口

畜産課	0857-26-7286	
	090-8061-9109	（休日、夜間）

■豚熱に係る野生いのししに関する相談窓口

緑豊かな自然課	0857-26-7979	（夜間休日は守衛に転送）
中部総合事務所生活環境局	0858-23-3149	（ " ）
西部総合事務所生活環境局	0859-31-9320	（夜間休日 0859-34-6211）

■平日夜間、休日、祝日相談窓口

県庁受付	0857-26-8663
------	--------------

お願い

- 豚熱（CSF）は、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。
- 野生いのししの検査状況から、県内に豚熱が浸潤している可能性は低いと考えられます。異常な死亡野生いのししを発見した場合は、県農業振興戦略監畜産課まで連絡し、その指示に従ってください。
- 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあることなどから厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に報道関係者の皆様におかれましては、養豚農場へ立ち入るような取材は防疫上ご遠慮ください。
- 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。